

◆ 2020年度活動報告シート ◆

団体名：公益財団法人 埼玉県生態系保護協会大宮支部

23A-15

代表者：支部長 原田 剛

URL :

### 1. 活動が必要とされた状況

さいたま市西区に位置する「秋葉の森総合公園自然保護ゾーン」は、希少種を含む多くの野生生物にとって貴重な生息・繁殖地となっている。当支部では、市公園緑地協会と締結した協働事業の一環としてこのゾーンを適切に維持・管理する作業を行ってきたが、2018年末をもって中断していた。このため、翌2019年、新たな支部体制を敷き、より充実した作業の再開を企図した。

また、「西新井ふるさとの緑の景観地・東側水路」では、オオタカ営巣の形跡やトウキョウダルマガエル・メダカなど絶滅危惧種の生息が確認されているが、周辺環境の著しい都市化により、今後については予断を許さない状況である。こうした背景から、当該地の保全につながるような基本データを集めることとした。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

6月～7月	西新井ふるさとの緑の景観地・東側水路	生き物調査	延べ11名
7月～10月	秋葉の森総合公園自然観察ゾーン	外来種駆除作業	延べ94名*
9月	秋葉の森総合公園南工区エリア	視察	延べ8名
11月	秋葉の森総合公園自然観察ゾーン	ヨシ刈り	延べ10名

★…公園主催行事アメリカザリガニ釣り手伝い(7月12日)を含む。

参加人数はこのとき、公募に応じた一般市民(親子)を含む。

### 3. 活動の成果

#### ○西新井ふるさとの緑の景観地・東側水路生き物調査

植生・生息する生き物の概要データを得た。

#### ○秋葉の森総合公園自然観察ゾーン外来種駆除・ヨシ刈り

駆除作業には試行錯誤もあったが、助成金で購入した仕掛けや胴長が役立ち、それなりの効果をあげることができた。ヨシ刈りでは開放水面を確保することでアカガエルの繁殖場所やメダカの生息域を拡げ、繁茂するヨシに圧倒されていたタコノアシを確認。また作業中、公園を散策する人たちに関心を持っていただけた。



### 4. 今後に残された課題

コロナ禍で当初の活動予定の変更を余儀なくされ、通年データが集められなかった西新井ふるさとの緑の景観地・東側水路生き物調査を拡充したい。秋葉の森総合公園は南側に拡張予定があり、自然観察ゾーン維持管理作業の強化・継続は必須である。

